

イノシシ用防護柵は有効か？

1. ネット柵に限界

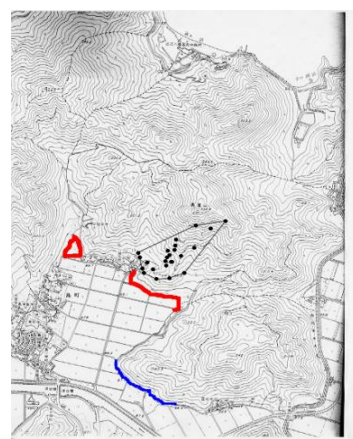
市販ネットを噛み破るイノシシ被害地域で強化繊維（ダイニーマ製）ネットを試したところ、住宅地や藪になっていないところでは噛み切りがほとんど認められなかったものの、雑草管理ができていないところでは設置2か月後に噛み切られた。ネットは安価で入手しやすく、扱いやすいが、被害の状況に応じて、他の資材と組み合わせたり、周辺の雑草管理を徹底するなどの工夫が必要である。



強化繊維ネット柵の効果には限界がある

2. ワイヤメッシュ柵は効果あり！

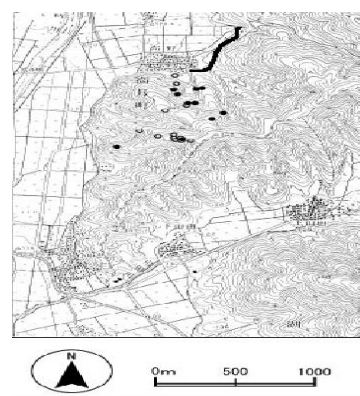
ワイヤメッシュ柵を獣道に設置したところ、柵設置前には自由に行き来していたイノシシが、柵の前で最大23分間探索行動をした後、引き返した。農地に設置したときには、4回突破を試みたが、1回も侵入できず、テレメトリ調査でも行動範囲が森林内に制限されている。さらに、ワイヤメッシュを地上から10cmの高さに水路に平置きしたところ、そこからの侵入がなくなった。



ワイヤメッシュ柵で農地への移動が制限

3. 恒久柵も効果が高い

イノシシ用恒久柵は、痕跡調査やテレメトリ調査から、農地への侵入はなく、移動制限効果を確認した。しかし、恒久柵設置2年目までは柵付近の痕跡がなかったものの、3年目からは痕跡が多くなった。柵の効果を持続させるためにも、付近の藪の伐採等の管理が必要である。



恒久柵設置後の行動状況

被害対策のポイント

1. ネット柵は、被害の状況に応じて、他の資材との組み合わせや雑草管理を行うなどの工夫が必要である。
2. 比較的安価で簡易に設置できる資材としては、ワイヤーメッシュが有効で、イノシシに対する高い移動制限効果が期待できる。
3. イノシシ用恒久柵も移動制限効果が高いが、イノシシを近づけさせないためにも、柵付近の藪の伐採などの管理はしっかりすることが大切である。

<課題名> 柵等の物理的防御技術によるイノシシの移動制限効果の検証

<目的> 各種の防護柵がイノシシの行動にどのような影響を及ぼすかをテレメトリ調査などにより明らかにし、その有効性を科学的に検証するとともに、行動制御技術の知見を得る。

<成果の問い合わせ先>

山中 成元（やまなか せいげん）

滋賀県農業技術振興センター 栽培研究部 湖北分場

滋賀県伊香郡木之本町千田 840

電話 : 0749-82-2079

メール : gc59@pref.shiga.lg.jp